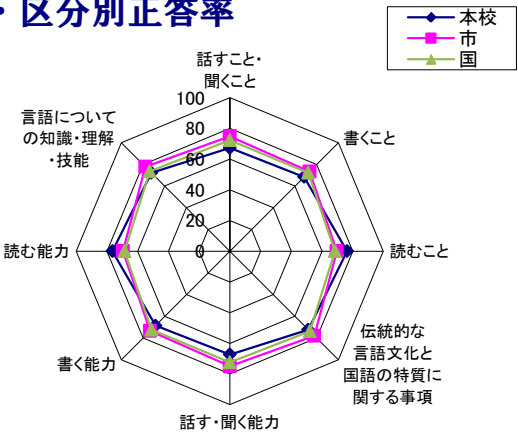


宇都宮市立西が岡小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

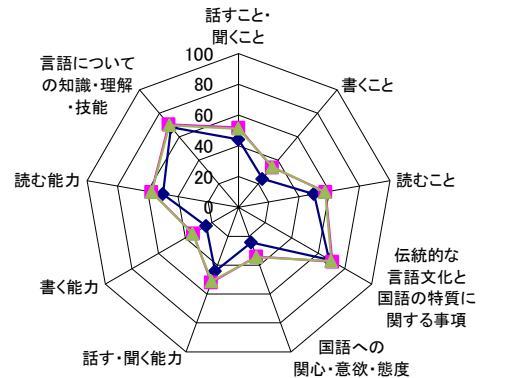
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	67.3	74.9	72.4
	書くこと	68.5	73.4	72.2
	読むこと	76.4	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.3	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	67.3	74.9	72.4
	書く能力	68.5	73.4	72.2
	読む能力	76.4	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	72.3	77.8	73.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	44.2	51.9	51.2
	書くこと	24.2	34.0	34.4
	読むこと	49.9	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.2	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	24.2	34.0	34.4
	話す・聞く能力	44.2	51.9	51.2
	書く能力	24.2	34.0	34.4
	読む能力	49.9	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	68.2	70.5	69.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○国語の授業内容は「分かる」「授業は将来役に立つ」「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたり」「組み立てを工夫して意見を発表したり」は、県の平均より高く、全国の割合よりも高い結果となった。
●「自分の考えを書く」や「内容を理解しながら読む」については、県の平均・全国の平均より低い結果となり、調査問題解答時間についてA、Bともに解答時間は「十分であった」と回答した児童は県、全国より低い結果となった。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

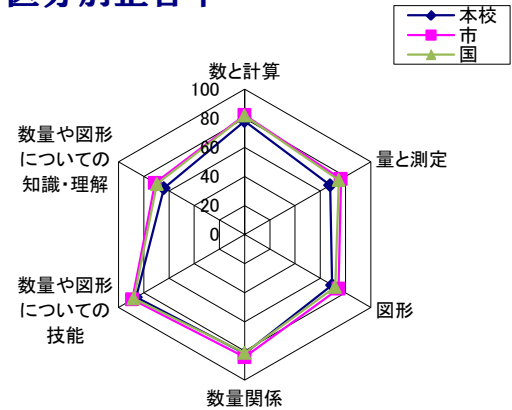
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○目的に応じて話合いの観点を整理する問題は県の平均に近かった。 ●話合いの観点到に基づいて情報を関係づけたり、立場を明確にして質問や意見を述べたりすることが不十分だった。	・話合いの基本の型を示し、相手の話を聞かときや発言するときの観点を意識するよう指導する。 ・話合い活動では手順や目的をみんなで確認し、意識付けをしてから行うようにする。
書くこと	○情景描写の効果を捉えたり、複数の事柄を並列の関係で書いたりすることは県の平均を上回った。 ●自分の立場を明確にして質問や意見を述べたり、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書いたりすることは不十分だった。	・メモをするなどして自分の考えを整理してから文章にまとめるように指導する。 ・自分の考えを書くときの基本の型を示し、書く順序や内容の関連について見通しを持って書くように指導する。
読むこと	○新聞の投書を読み表現の仕方を捉えたり、物語の登場人物の相互関係を捉えたりすることは県の平均を上回った。 ●課題を解決するために、目次や索引を活用して本を効果的に読むことは不十分だった。	・偏った読書傾向にならないよう、幅広い範囲の本に触れる機会を作る。 ・調べ学習など国語以外の教科でも効果的な活用を繰り返し指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○学年別漢字配当表に示されている感じを正しく書いたり、故事成語の意味と使い方を理解したりすることは県の平均を上回った。 ●国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解することは不十分だった。	・授業で意味調べをするときに、国語辞典の使い方を繰り返し復習する。 ・意味が分からない言葉があったら進んで国語辞典で調べようとする態度を育てる。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

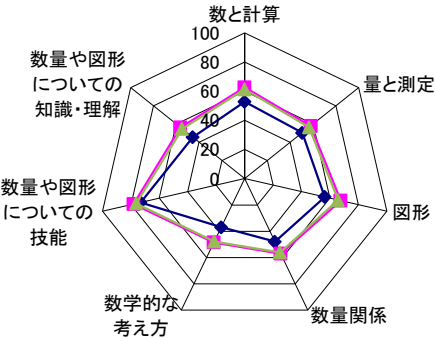
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	78.0	82.2	81.8
	量と測定	67.9	76.4	74.8
	図形	69.5	74.5	71.8
	数量関係	81.8	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	86.1	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	64.0	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	52.7	62.6	61.3
	量と測定	50.5	58.0	56.5
	図形	56.4	67.5	65.7
	数量関係	48.0	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	37.0	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	73.2	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	45.5	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○算数の授業は勉強は「好き」「大切」「新しい問題を解いてみたい」「普段の生活で役に立つ」と感じている児童は全国の割合と同じであった。
●算数の授業の内容が「わかる」「解き方が分からない時はあきらめずにいろいろな方法を考える」「もっと簡単に解く方法を考える」割合は全国より低い結果であった。
●調査問題の解答時間はA、Bともに「解答時間は十分である」と回答した児童は全国平均より低い結果となった。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○小数や分数の計算は正答率が高いものもある ●割合の考え方が入ったり、文章問題を読み取り立式したりすることが不十分であった。	・小数の計算については、小数点の位置を確認しながら計算していくように指導する。 ・帯分数から仮分数への変換が必要な分数の加法・減法の練習問題を指導していく。 ・割合の入った簡易な練習問題、また文章問題を練習させ、図や数直線、式を使って表すことができるよう指導していく。
量と測定	○立方体や直方体に1cmを敷き詰める問題は、図のイメージがつかみやすく、良くできていた。 ●示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、理由を考える問題は正答率が低い。混み具合を考察することの定着は十分とは言えない。	・実物の教材を使った演示の学習で、具体的なイメージができる授業を展開する。 ・量を比較したり、全体と部分関係を考えたりする問題を練習させ、復習をすることで定着させる。
図形	○円周を求める公式は、しっかりできていた。 ●立体図形の見取り図から、辺や面の位置関係を考える問題の定着は十分とは言えない。	・図形の周りの長さや、面積を求める公式を掲示して、知識・理解の定着を図る。 ・立方体や直方体の展開図や見取り図を利用した練習問題を指導していく。
数量関係	○数量の関係を式に表したり、四則計算の混ざった計算を平均を上回っていた。 ●計算のきまりを小数に拡張することなどの定着はやや不十分であった。	・繰り返し、簡易な計算練習に取り組ませる。 ・小数倍の入った問題など、少し難易をあげた内容で指導する。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

○国語や算数の勉強が「大切だと思いますか。」という質問に関して、肯定的に回答する児童は県や全国平均を大きく上回っている。社会に出てから必要であり、役に立つという認識が高い。学習の必要性を十分感じているので、学習する環境づくりを支援していきたい。

●宿題をやる児童は割合は比較的高いが、それ以外の復習や家庭学習の質問項目は、県や全国平均を下回っている。テレビゲームをやったり、テレビ視聴の時間は、県や全国平均を上回っている。「家の人は、授業参観や運動会の学校の行事に来ますか。」の質問では肯定的な回答が多いので、保護者の協力をお願いし、家庭学習の定着を図りたい。学校でも、ノート指導などを通して、家庭学習を支援していきたい。